環境衛生部たより

担当；本名直吉・三橋静雄

資源回収にご協力をお願いいたします。

回収日：毎月第二土曜日です。

みんなで協力しようね。

資源回収量が最近減少しています。原因はいろいろあると思いますが一番の要因は高齢化だと思います。多量の荷を運ぶのは大変なので少量でも月一回は資源回収ステーションへお願いいたします。

回収ステーションが増えました。

資源回収ステーションが佐々木商店脇に新設されます。周りの方々の資源回収ご協力お願いいたします。

回収ステーション目印です

不法投棄は絶対やめましょう。

最近、稲越地区内にも空地・空き家が増えてきました。そこに不法投棄が見受けられます。

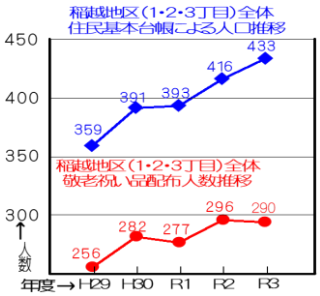
不法投棄は犯罪です
絶対やってはいけません。

福利厚生部たより

担当；伊藤政行・松丸 弘・大谷内正夫

稲越地区75歳以上の人口推移

住民基本台帳と敬老祝い配布人数の比較



75歳以上の人口変化は過去5年間を見ると、住民基本台帳では 359 人から 433 人と 1.20 割増加に対し敬老祝い配布先は 256 人から 290 人と 1.13 割と差異が出ているのは会員数の減少と自治会離れが原因なのか今後の一考が必要だと思われます。

敬老のお祝い

今年も75歳以上の方にお祝い品をお届けしました。

※配布対象者内容※
・稲越自治会会員の方で昨年までお届けした方。
・新規会員になられた方と今年75歳になられた方で自己申告された方のみの配布。

今年も稲越自治会会員で75歳以上の方に敬老祝いの品をお届けするのに 9 月 12 日に本部理事が自治会館で対象者を地図に落とし込みの作業を半日がかりで行いました。

今年 3 月に住居表示が施行され市から提供された住居番号の新旧対照表に総務部で苗字の書き込みを大変苦労して整理されたので敬老のお祝い品の対象者を地図に落とし込み作業が短時間で出来ました。

9 月19日に290名の対象者に理事が4班に別れてお届けしました。

理事の皆様ご苦労様でした。

4班に分かれて配布先を地図に落とし込んでいる風景

広報部たより

担当；一之瀬幸雄・田中　智

・!!稲越広報紙 “いなごし” の昔と今!!・

稲越広報紙 “いなごし” は今から 42 年前 1979 年（昭和 54 年）6 月に第1号を今の自治会副会長をされている伊藤政行さんが手書きで紙面を作成され発刊されて、2006 年（平成 18 年）5 月まで 27 年間 262 号まで味のある稲越広報紙”いなごし”を継続されました。

地域の一般紙にもカラー写真が載るようになり稲越の広報紙にもカラー写真を多く取り入れてはとなり 2006 年（平成 18 年）6月から PC（パソコン）を使って写真等をカラーで取り込み視覚に強く伝えるように変え現在の 446 号まで稲越広報紙”いなごし”が続けられています。ただ変っていないのは稲越広報紙の題字 **“いなごし”**は 1 号から同じです。

1979 年（昭和 54 年）6 月第 1 号発刊

紙面が PC 作成に変わった最初の第 263 号

!!稲越広報紙” いなごし” のこれから!!

稲越広報紙 “いなごし” を作成に当たり現状の様な広報担当者任せの自力だけでは原稿収集が困難です。やはり他力と組織力を活用して多方面の細やかな情報も収集出来る様な仕組みが必要だと思います。

本来、各行事に対する記事に於いても広報部の外から見ての記事ではなく、行事担当者が行事の本質的な内容を住民の方々に伝えられる様な記事が自治会としての本来の姿だと考えます。今後、皆さんの協力をお願いいたします。